

アメリカ・ミシガン州駐在員便り

2006/10/30 駐在員：山川 祐司

ジェラルド・フォード博物館を訪ねて

1月7日(日)の夕方、ミシガン州グランドラピッツにあるジェラルド・フォード博物館を訪ねました。

ここでは館内にある豊富な映像や資料、そして執務室の再現などによって、12月26日(火)に亡くなられたフォード元大統領の就任から退任までの事績が追っていけるようになっています。

元大統領が亡くなられてからは閉まっていたのですが、前日の6日(土)に再オープンしました。

係員の方によると、「好天のレジャー日よりなら100人程度のこともある一日あたりの入館者数が、昨日は3,600人を超えた。今日は昨日ほどではないが、2,000人は超えているだろう」とのことでした。この日は、小さいお子さんを連れてご家族で来ておられる方も多く見かけました。

ワシントンでの国葬に続き、1月2日(火)に同博物館で行われた告別式の様子はテレビで中継されました。「お帰りなさい」という呼びかけを繰り返しながら、元大統領のミシガン大学時代のフットボール選手としての活躍、州選出の下院議員としてのキャリア、そして故郷ミシガンで育んだであろうご家族との絆について触れた、グランホルム州知事の弔辞が印象的でした。



博物館前には、メッセージと共に多くの星条旗、キャンドル、そしてぬいぐるみなどが捧げられていました。